

清閑亭について

NPO法人小田原まちづくり応援団

清閑亭は黒田長成侯爵の小田原別邸です。黒田侯爵は福岡藩主の家に生まれ、貴族院副議長を30年間務めたほか、漢詩集『桜谷集』を遺すなど文人でもありました。建物は格式ばらない数寄屋造りの純和風建築。敷地は小田原城三の丸土塁の一角を占め、小田原の町や相模灘を一望できる素晴らしい眺めに恵まれています。別邸ができたのが明治39年(1906)と100年以上前になります。その後、浅野侯爵家の邸宅を経て、第一生命保険会社の施設となっていました。

平成17年(2005)、母屋が国の有形文化財に登録され、翌年には敷地が国の史跡に指定され、平成20年(2008)小田原市の所有となりました。

昨年からNPO法人小田原まちづくり応援団が市の委託を受け運営(神奈川県・神奈川県らしい観光交流企画開発事業)を行っています。

清閑亭ホームページ <http://www.machien.net>



ウメ子について

ウメ子は戦後復興の最中だった昭和25年(1950)に開催された『小田原子ども文化博覧会』の時に「子供に夢と希望を」という使命をもって推定3歳でタイ王国から来日したインド象です。

以降、“お城の象さん”として小田原市民のアイドルとして愛され続けて参りましたが、平成21年(2009)9月17日の未明にその生涯を閉じました。62歳。人間ならば100歳にもなるそうです。

実に60年の長きにわたって我々に夢と希望を与え続けてくれたのです。今年はお城の象さんの3回忌。偲んでの企画となりました。

展覧会について

東京銀座「みゆき画廊」での個展に続き、小田原にて『ウメ子展』を開催します。この展覧会を彼女が育った小田原の地で開くことは私の念願でありました。しかも、“清閑亭”という特別な場所での展示ができることとなり、たいへんうれしく思います。今回の展示では個展時の作品とともに“清閑亭”の為に描き加えた新作も発表、画廊での展示とはまた異なったウメ子ワールドを味わって頂けたらと思います。是非、ご高覧ください。

<勝山治実 略歴>

1962 神奈川県横浜市生まれ 金沢美術工芸大学卒業

神奈川県展・上野の森美術館大賞展・臥龍桜日本画大賞展など出品



上映会について

小田原映画祭実行委員会・NPO法人小田原シネマトピア

展覧会期間中、短編映画『小田原城のウメ子さん』を上映いたします。この映画は、昨年の小田原映画祭で公募したウメ子の貴重な写真やムービーをもとに編集、作成したもので、多くの皆様からご好評をいただいております。また映画制作者と勝山画伯によるお話し会も同時開催いたします。

9月17日(土)・18日(日)

① 11時~12時半 / ② 14時~15時半 定員それぞれ40名(要予約)

参加費 1,000円(珈琲/お茶・茶菓子代として)

展覧会、上映会についてのお問い合わせは

小田原邸園交流館 清閑亭 神奈川県小田原市南町1-5-73
0465(22)2834 ホームページ <http://www.machien.net>

